

第 22 回番組審議会議事録

- 1 . 開催年月日 平成 21 年 7 月 28 日(月) 午前 1 0 : 0 0 ~ 1 1 : 0 0
- 2 . 開催場所 箕面市船場東 2-5-47 COM 3 号館 5 階 COM 倶楽部会議室
- 3 . 委員の出席 委員総数 10 名
出席委員 8 名
出席委員の氏名 稲垣千秋、稲井信也、井上光央、加藤真知子
須貝昭子、高谷和彦、中村 保、牧野直子
放送事業者側出席氏名 岡田 堅治（取締役総務部長）
大平麻由美（編成課長）
永田 純子（編成課員）
- 4 . 議 題 1) 番組 スマイル健康！エンジョイ子育て！
「出産直前・直後の過ごし方」について
2) 他の番組について
- 5 . 議事の概要 稲垣委員長が議長となり、委員 8 名の審議となる。

6. 審議内容

1) 番組 スマイル健康！エンジョイ子育て！「出産直前・直後の過ごし方」平成 21 年 6 月 10 日放送分について

(1) 事務局より番組説明

(2) 審議

委員：行政の提供番組としては非常にいい番組なので回数を増やすとか放送時間を増やす努力をして頂きたい。

気が付いた事は、問合せの所は書く暇がないので、繰り返すとか冒頭にふるとかが必要だと思う。もう一つは、いきなり入るので誰がというのが良く分らないので前振りが必要だと思います。

良くまとまっていると思いました。もし放送時間が長ければ、直前の人のお悩みとか質問とかを組み入れればより関心度が高まるかと実感しながら聞いていました。

委員：知人に内容を試聴してもらった。

直前心配になるのは生まれてくる子が五体満足かどうか、そういう事には触れられていなかった。

委員：この番組をいかに聴いてもらうかはPRだと思うのですが、市役所とか支所で母子手帳をもらう時に小さい紙の挟み込みをお願いして「タッキーを聴いて下さい」というような番組のPRが必要なのではないですか。

子育てと言っても生まれるときから成長するまで長いのですが、生まれる前後の不安の中身がよくわかりました。本人はマタニティブルーで不安定になるという事がすごくあるのですが、それを周りの人があまり理解できていないので、周りの人の面からの内容も入れてはどうですか。

子育てサークルの情報の件については、情報誌が市でも出来ていますしあちらこちらにあるので、何処に行ったらもらえるとか、利用して下さいという事をいれて、情報誌を見ながら聞いてもらえればPRになるかと思えます。

委員：産婦人科医の先生がお話されていたのですが、放送に慣れていないのか棒読み状態で聞きずらかったので、読み手というか慣れた方がポイントで言ってもらって、先生には生の声で、『こういう事は大丈夫ですよ』とか呼びかけの方がいいのではないかと。役割分担をした方が聞いている方も説得力があると思います。

子育てサークルについては、市民活動センターに、『子育てのサークルはたくさんあるのですか、マタニティサークルは無いのですか』とご主人が問合せに来られた事もあるので、妊娠中の子育てサークルの情報も必要なのではないかと思います。

以前は保健所にあったので、同じような人たちが集まって話ができるのですが・・・

委員長：今は保健所にはないのですか？

委員：多分一過性のものだと思うので、継続した活動としては少ないと思うので、情報としてあればいいと思う。特に引越しされてきた方や、里帰り出産の方は周りの様子がわからないので、どこに行ったらいいかわからないという事が現実にあります。

委員長：その番組の関連の情報を取り入れて放送する事は出来るのですか。

事務局：出来ると思います。

今現在も10分という限られた番組なので、中にはどうしても入れたかったけれども入れられなかったという状況もあるので、生放送でOAしているので、10分が終わった後でパーソナリティの人に補足説明を入れてもらって放送しているので、これからも場合によっては可能だと思います。

委員長：そういった事も加味しながら番組を膨らませてもらうとより以上に皆さんの関心も高まってくるだろうし、利用する部分も増えてくると思うので、よろしくお願いします。

放送の秒読み云々とか、私には素人でわからないので、プロの先輩にお願いします。

委員：私には関係がない事なので、関心の無さがいけないのかもしれませんが、老人性難聴の私には高い音が苦手なので、早口で聞きにくい。

先月分の健康の方は面白かったしよくわかると思った。比べると短い時間でこれだけの事を言わなければならないという事もあるの
でしょけれど早口だと思う。

短い時間にやる場合、メモが取れるかどうかが大変なので、2回繰
り返すといいと思う。

HNKの健康番組はわかりやすい。アナウンサーの聞き手もはっきり
しているのと、お医者さんも慣れていて上手なので、たいした事
はしゃべってないのですが、大切なところが印象に残る。

テンポをかえて区切りをつけるのもいいと思う。

その立場に直面している人はそのような事はないのかもしれませんが、第
三者的に聞いているとそのように感じました。

委員 長：制作側としては対象をどこに絞っているのでしょうか。

事務 局：プレママも含めて子育て世代。

市長が変わられて子育て日本一を打ち出されていたので、その時点
から今年度の市の提供枠は子育ての番組をご提案しようと決めて
いて、これまで開局して14年になるのですが子育ての番組がなか
ったので、当初若かったスタッフも子育てを終えるか一段落ついた
状況の中で、偶然 が妊娠中で当時者でもあるので、体をはって
制作中です。

まだまだ情報収集も足りない部分もありますので、もっと皆様に教
えて頂きながらまとめあげていければと思っています。

委員 長：これから男性の方も出産とか子育てに大いに関わっていく時代です。
でも、皆さんどのように関わっていいか手段もわかりませんよね。

委 員：今は子育てで男性も休めますよね。

委員 長：そういった番組の取り組みは流れに沿っているし一番関心事であり
ますので、いい企画だと思っています。

ポイントだけを繰り返す、形を変えて繰り返す事が大事だと思う。

委 員：こういう番組のポイントは何処に何を問い合わせたらいいかが明
確じゃないといけない。

委員長：何か他にありませんか。

委員：全体的に、10分間の中でそれぞれの立場からコンパクトにバランスよくまとめられているなと思いました。10分の中で全ての情報を盛り込む事は不可能なので、『詳しい情報はここに・・・』という形でお知らせするのが大事だという事と、番組の構成そのものではないのですが、番組にアクセスしてもらうために、産科の待合室とかに情報をおいて、PRしてもらいたい。子どもが出来ると忙しくなって時間が足りなくなってしまうのだけれど、まずマタニティの時にこういう番組に出会うと、いずれまた新しい人が一度はアクセスするので、後々のリピーターに育って頂きたいので、一番困ったときに、タッキーで得た情報が非常に役に立ったという経験をされる人が1人でも2人でもいることは大事な事なので、そこにどういう風に接点を作っていくかという事を工夫して、それ以後の情報につながる情報をお知らせして頂きたいと思いました。

委員：本来は悩んでいる人には産婦人科（病院）がそういう会を開く事も一つの手で、逆に言うとそういう所とタイアップして、そこに飛び込んで行って番組構成をするのもいいかもしれない。

委員：子育て支援センターとか検診の所にはこの番組情報はいつているのですか？

事務局：はい。

おひさまルームとか子育て支援センターには事前にお話していますので、ご存知だとも思います。ほかに箕面市内の子育てサービスがありましたので、そちらにもお願いさせてもらっています。

委員：出で来る人は積極的な人なので、一番問題は家でブルーになっている人で、そういう人はタッキーがあればスイッチを入れれば聞けるので、保健士さんや病院などに情報をお知らせした方がいいと思いました。

委員：短い時間内でよくまとめられていたというのは皆さんの統一的なお話だったのですが、できればQ & Aという形で事前に質問(悩み

事)を受けて、保健士さんやお医者さんに答えてもらうのもいいのではないですか。

委員長：放送番組の時間帯はその時間帯で流されるのですか？

事務局：はい1年間は変わらないです。
再放送を土曜日の9時20分から放送しております。

委員：再放送がありますね

事務局：はい。同じ週末の朝9時20分から。
プレママでも働いてらっしゃる方とかは聞けない時間帯になりますので、週末のお休みである機会の多い土曜日の朝に再放送しています。
CMで水曜日と土曜日の再放等番組の告知はしています。

委員：今後の番組の予定は決められているのですか。

事務局：年間で箕面市の方に提供しないといけないので、春の段階で1年間の計画をしています。

委員：子育て番組の1年間の計画も決まっているのですか。

事務局：はい。スタートさせる前に子育て世代の方にどういう事が聞きたいとか調査をして、そこから出た多い意見を月に沿った形なるべく進めようと、年間計画を立てています。ただ、隔月であるのでなかなかうまくいかない場合もあります。

委員：市立病院の先生とかは今後も出演していただくのですか？

事務局：産婦人科の先生に取材をお願いするときは広報課に紹介いただくので

委員：タッキーはそれなりに宣伝するのですが、市民病院でも個人病院でも積極的にPRしてもらう事が必要なので、チラシを貼ってもらったり、産婦人科とタイアップして何かをしたり、同じ先生に

出演してもらうのなら番組を聴いてもらうようにPRしてもらったり、するのも必要ではないか
一方的ではなく、相手にもアクティブにして頂く工夫をして欲しい。

委員：今おっしゃった事は非常に大切な事で、今回は子育てですけれどこれから地域のネットワーク作りが非常に大事になると思うので、その中ではたず地域のFM放送局としての役割があるので、特に医療情報や災害時の情報は、急には出来ないので日頃から積極的にアクセスして頂いて、向こうの協力を得られるような関係作りをして頂いて、そのつながりから各医療機関に浸透していくようにして頂きたい。
保健所が今箕面市から撤退してしまっているなかで、地域でのたまり場的な事が出来なくなってきているので、つなぐ役割をして頂ければと思います。家から出られない人に向けてどう地域のネットワークを作っていくかという事を考えながら、番組の中でも生かさせて頂ければと思います。

委員長：ありがとうございます。子育てのこういった番組は皆さん関心のあるところで色んなご意見が出たと思います。
それでは次に移りたいと思いますが他の番組に対するご意見ありましたらどうぞ。

委員：朝のNHKのドラマ「つばさ」で川越のラジオ局の話をしていて、その人たちが昼にスタジオパークとかに出演されていて、FAXとか投書とかされていて、『箕面にもタッキーがあります』とが『同じ悩みがあります』とか送ったら、もしかしたら取り上げてもらえて、PRのいいチャンスではないかと思うのですが。

委員：ドラマの中で川が氾濫して・・・というような話もこの辺でも関係のない話ではないので、うまく生かせたらという事だともう。

委員長：FM局も一時期沢山できて、各々特色を出す為に頑張ってやって、今落ち着いて、今もう一度位置を示したい。タッキーを知らない人もまだいるので、そういう所を掘り起こしたい。

委員：あの番組の中でうたっている事は1つ、地域を巻き込んでいるとい

う事で、今までは行政を含めて発信するだけで終わっていきけど、今は聞いてもらってなんぼなので、緊急時以外にタッキーを聞くような仕組みを作らないといけない。（例えばイベントの中止情報）PRを自分達でもらえる提携・連携を考える。
タイトルのつけ方を考える。

委員長：緊急性があった時にタッキーをつければわかるというのは、強みであるしそのためにある。
タッキーを聞けばわかるという流れを自然的に作っていくといい。他に何か…何でも仰って下さい。

委員：みのおまつりの1日目もすごく雨が降って問合せがあったのですが、そういった時にタッキーをつけておこう…というのがあって、ローカル性が必要だと思いました。
子育ての時に言っておけばよかったのですが、色んな市民活動団体の中で子育てのネットワークを作っていこうと思っていて、ネットワーク内容を情報にしぼって、色んな情報をお互いに交換できる場と発信する媒体の一つとしてタッキーを入れていきたいと思っています。
情報の発信の仕方や、その中からメリットを感じてもらってタッキーからの発信と情報をその中からとって頂ければいいと思っています。

委員長：色んなご意見を頂いて参考にして活用していければと思います。

委員：箕面市が最初、タッキーの専用ラジオを市内の高齢者に配られましたが、愛用してきた人からどうしたらいいのかという相談があるのですが、在庫があるはずなのですがご存知ですか

事務局：はい。少しあるというのは伺っております。
今回コミセンに配っていただいた経緯は

委員：コミセンには1台づつしかきていない。
でも、そのラジオは今のラジオに比べたら性能が悪いのでダメ
今はもっと小さくて性能がいいのがあるのでそっちを作った方がいいと思う。

- 委員：活用方策があるのならと思っただけなので…
今、ローカルな情報をというお話がありましたが、インフルエンザの時には情報が次々に入ってきて、私も主催するものがあって連絡する時間的余裕がなくてなんぎしたのですが、タッキーでもまちの情報箱でまとめていただいて、タイムリーに情報を出してもらえれば、医療機関や市民活動団体を通じてそこから広がっていけばいいなと思います。
- 委員：ダイヤルを合わすのが厄介なので、何かあった時にポンと押せばタッキーになるようなラジオだといいですね。
- 委員：自動選局もありますよね。
- 委員：プログラムの設定できるラジオを買ってきてすぐに聞けるようにしています。
- 委員：地震の時でも大雨の時でもそうですが、地域の情報なのでタッキーを聞くようPRすることが大事。
- 委員長：聞いて下さいと言ってもラジオがなかったらしょうがないので、箕面市で予算化して助成してもらえれば普及するのですが
- 委員：来年箕面おまつりのチラシ雨天の情報はタッキーを聞くようにというような事を入れて明確にしたらいい。
- 事務局：1行入っていました。
- 委員：さっき時代遅れで性能が悪いと言われましたが、高齢者の方は新しい機械に対応できないのでスイッチを入れればタッキーが流れるというのがいいので、前のが残っているのであれば、配布したらいいと思うのですが、これは箕面市の問題なのでしょうけれど。
- 委員：もう在庫はほとんどないのでしょ？
- 事務局：結構あると…
- 委員長：聞いてもらって未だ在庫があったら何か配布する方法を考えてはど

うですか。

委員：夕方のとばりが下りるところが高齢者の方は寂しくなる時間なので、その時に懐かしい唱歌が流れるとかして、時間帯とリスナーを戦略的に考えて、有効な放送とその周知の仕方を工夫していただければ、違う

委員：先日母が1人暮らしになったのですが、市に頼んで緊急ブザーをつけてもらったのですが、そのような方にお配りして活かせる方法はないですか。

委員長：在庫等を聞いて配布方法等検討して下さい。
本日は沢山貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。最後に、前回頂いた意見・ご指摘を頂いた中での説明を事務局よりさせていただきます。

事務局：前回頂いたご意見を受けて、反映させて番組作りをさせていただいているという事の報告と、新型インフルエンザの時のタッキー対応をお知らせしておきたいと思います。

前回、「ナセバナル！週間倉田哲郎市長」をご視聴頂き、ご意見を頂戴した中で、当初は1週間の細かい市長のスケジュールで話を伺っていたのですが、それよりもポイントを絞ってお話を伺った方がいいという意見が多かったので、現在は大きく3つから4つの話題を取り上げて、お話を伺うという体制に切り替えております。必要があれば踏み込んで伺えるように市の動きに対しても日々勉強している状況です。

箕面市の緊急プランは6月にバージョン2が出て、もみじだより等でも発表され、各中央生涯学習センターなどでも説明会が開かれていました。バージョン2に対してのパブリックコメントが先週締め切られたのですが、その間にあわせて説明会取材して、タッキーが運営している情報発信サイトの方で、詳しくその内容を載せたりしました。今後も市の大きな動きに対してはタッキーで取組んでいく体制をとっています。

新型インフルエンザのタッキーの対応ですが、5月18日から丸2週間1日4回時間を決めて、箕面市の新インフルエンザ対応を集約して放送しました。その他の時間帯も色々な取材物を取りやめて、

インフルエンザの情報の放送体制を組みました。

箕面市のHPでは市の主催行事に対してのみ開催中止・延期情報を流していましたが、タッキーが運営している情報発信サイトみのおドットネットのページに、市の主催イベントよりも市民グループ主催のイベントの開催中止延期情報をまとめて載せるようにしておりました。

その時に出来る事をやってきたつもりなのですが、課題として残っているのが箕面市の広報課・市民政策安全課との連携です。

4月の人事異動でこれまで長年あうんの呼吸でやってきて下さった広報課方が異動されて、新しい方との連携がなかなか取りにくかった事が非常に大きな課題となって残っています。

今日のお話の中でも何度も出ていますが、ラジオとインターネット等で情報を発信しているのに市民の皆さんへの周知がまだまだ足りないので、日々の取材活動等を通じて広めていかないといけないし、PRして頂ける所との連携も必要かなと思っています。

今タッキー816では箕面市議会の一般質問に関して録音放送をしているのですが今年の1月の時点で議会の方も議会改革を進めるという話がありましたので、インターネットでのライブ放送や好きな所だけ聞けるオンデマンド放送、ラジオでのライブ放送を、一般質問だけでなく委員会も含めて予算の提案をしているのですが、まだ何も進行していない状況です。

委員長：市議会の一般放送聞けば関心も出てくるし、聞くチャンスを与えて頂くのはいい事なので大いに広げて頂いたらいいと思います。

新しい市長に変わられて勢いよく走っているので、タッキーも市長の勢いに負けないようによろしくお願いします。

なし

8 . 審議機関の答申または意見の概要を公表した場所における公表内容、方法

自社放送

事務所への備置

ホームページ (<http://fm.minoh.net/>)

上記事項を明確にするため、この議事録を作成する。

平成 21 年 7 月 28 日

みのおコミュニティ放送株式会社

番組審議会